

はじめに

2025 年 7 月 5 日、北九州国際会議場（北九州市）にて「第 62 回化学関連支部合同九州大会」が「第 36 回産学交流ユースフォーラム」と併せて開催されました。参加した学協会は、日本化学会九州支部のほか、日本分析化学会、高分子学会、繊維学会、化学工学会、電気化学会、有機合成化学協会、日本農芸化学会の合計 8 学協会の各支部であり、化学を共通キーワードとする幅広い分野の学会に所属する研究者が一堂に会し交流を深めることができる意義深い大会となりました。

大会概要

主に九州地域から集まった産学官の研究者により、各学協会支部が担当する 8 分野 6 セッション（無機化学、物理化学、生物化学・農芸化学、有機化学、化学工学、高分子・繊維化学、電気化学、分析化学）の研究発表（依頼講演、ポスター発表）が行われました。

依頼講演、一般講演（ポスター発表）

各関連学協会から推薦された 8 件の依頼講演が行われました。日本化学会九州支部からは平松光太郎准教授（九州大学）による「高速分光法の開発と生命科学応



用」と題した依頼講演が行われました。

ポスター発表の総数は 569 件に及びました。学生にとっても参加しやすく、初めての学会発表の場として利用しやすいため、発表の中心は、高専、大学、大学院の学生でした。各セッションに割り当てられた 1 時間を有効に使って、分野を超えて活発な議論が繰り広げられました。

また、無機化学（31 件）と物理化学（32 件）の 2 分野の審査を担当し、特に優れた学生ポスター発表に対して若手奨励賞（無機化学 7 件、物理化学 8 件）を授与しました。受賞者には賞状が贈られました。

産学交流ユースフォーラム

例年どおり、本大会と並行して第 36 回産学交流ユースフォーラムが開催されました。化学関連企業 10 社（旭化成株式会社、MHI ソリューションテクノロ

ジーズ株式会社、クラサスケミカル株式会社、JNC 株式会社、住友化学株式会社、デンカ株式会社、日鉄ケミカル&マテリアル株式会社、三井化学株式会社、三菱ケミカル株式会社、東ソー株式会社）が展示ブースを設置し、産業界と学生、研究者の間で交流が図られました。特に、今後の就職活動を念頭に置いている学生は展示物を前に熱心に企業の話に聴き入っていました。昨年に引き続き企画されたシールラリーも大好評で、準備された景品は終了時間を待たずに売り切れました。実施後のアンケートでも、「実際に働いている方からホームページでは得られない情報を知ることができた」と、学生が企業と交流できる良い機会となったことがうかがわれました。

おわりに

例年になく早い梅雨明けを迎え、また隣のスタジアムではラグビー日本代表とウェールズ代表の熱い戦いが行われる中での開催となりましたが、会場内も外に負けず劣らず参加者の熱気で満ちておりました。第 63 回も同時期の開催が予定されております。次回も多くの参加をお待ちしております。

〔2025 年度九州支部幹事 若林里衣（九州大学大学院工学研究院）〕

© 2025 The Chemical Society of Japan